

生徒の学習状況についての実態および定期考査等の結果等を踏まえた内容別・観点別の分析表

【理科】

〈学習状況についての実態〉

- ・理科に関する興味・関心は極めて高い。しかしながら1年生における観察実験の技能が身に付いていない部分があり基本から指導している。科学的思考・表現に関する事項に苦手意識をもつ生徒が多くなってきた。
- ・知識・理解が全体的にやや不足している部分が顕著になってきた。
- ・抽象的な表現・概念に対する理解度もやや低く苦手意識をもつ生徒が多い。
- ・基礎的四則演算力が不足する生徒が目立ってきている。

〈今後の課題〉

- ・関心・意欲の高さを知識量へつなげ、さらなる学力の向上に結び付ける。
- ・文章や図表などから、内容を丁寧に読み取り情報と付加的な情報に分けたり、見出したりする力を身に付けさせる。
- ・自分の意見を理科的に考え、まとめることで表現できる力を身に付けさせる。
- ・発表など言語活動や数的処理の機会を増やし、総合的な基礎学力を高める。